

授業科目	医療英語	単位数	1	時間数	15		
担当者名	外部講師	実務経験	有	学年	3	開講学期	1
科目目標	医療現場における日常英会話力を身につける						
授業計画・授業内容							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 外来問診票、初診患者への対応、個人に関する一般情報、患者さんの話を聞き取るためのヒント 2. バイタルサイン測定や数値の読み方、身体検査時の患者への指示等を 英語で発音 3. 症状・痛み・期間・既往歴・薬等の患者への質問や指示などを英語で発音 4. 患者への賞状に関する質問や検査時の指示などを英語で発音 5. 病院で患者との会話を英語で発音 6. 患者さんへ院内の案内などを英語で発音 7. 医療に関する単語の発音方法、症状や部位、患者への指示など 8. 試験 							
教科書	現場ですぐに役に立つ！実践メディカル英会話 （メディカ出版）						
参考書							
評価方法	筆記試験						
備考							

授業科目	関係法規	単位数	2	時間数	30		
担当者名	外部講師 病院事務 病院薬剤部長 専任教員	実務 経験	有 病院事務業務 調剤業務 看護管理・教育	学年	3	開講学期	1 2
科目目標	1. 人々の健康な生活を支えている法令、健康な生活を維持するために活用できる法令を それぞれの関係性を踏まえて理解する 2. 看護職として働くにあたって自らの身分や責任、業務を理解する						
授業計画・授業内容							
<p>担当：専任教員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に関係する法を学ぶにあたって 2. 現代医療の特徴、看護事故、医療紛争 3. 法的責任、民事刑事責任の区別 4. 看護に関わる基本的法律 5. 保健師助産師看護師の役割と法的責任 <p>担当：病院薬剤部長</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 薬務法 <p>担当：外部講師</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 8. 民事責任、刑事責任、法的責任、事例検討 9. 試験・課題(1～8) <p>担当：病院事務部長</p> <ol style="list-style-type: none"> 10. 医事法 11. 医療に関する広告、病院開設・管理・構造設備 12. 医療関係資格法、医療を支える法、共通保健法、分野別保健法 13. 保健衛生法、環境衛生法、社会保険法 14. 介護保険法、年金、社会福祉法、労働法 15. 試験(10～14) 							
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 (医学書院)						
参考書							
評価方法	筆記試験・課題						
備考							

授業科目	地域保健論	単位数	2	時間数	30		
担当者名	外部講師	実務経験	無	学年	3	開講学期	1
科目目標	一人ひとりの健康は時代や世界の動きの影響を受けていることを理解し、組織的な保健活動を理解する						
授業計画・授業内容							
1.2. 公衆衛生とは 3.4. 集団の健康をとらえるための手法—疫学 5.6. 環境と健康 7.8. 母子保健・成人保健・高齢者保健 9.10. 精神保健・歯科保健・難病支援・障害支援 11.12. 感染症対策・学校保健 13.14. 産業保健・健康危機管理・災害保健 15. 国際保健 16. 試験							
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生統計協会) * 2年次購入						
参考書							
評価方法	筆記試験						
備考							

授業科目	看護研究演習	単位数	1	時間数	30		
担当者名	専任教員	実務経験	臨床看護実践・教育	学年	3	開講学期	1
科目目標	看護を追求していく姿勢を養い、自己の看護観を高める						
授業計画・授業内容							
1. 看護研究演習オリエンテーション 2.~9. 文献検索、研究計画書作成 論文・抄録作成、プレゼンテーションの準備、発表会の準備 10.~14. 口演発表、相互評価、発表会の運営 15. 論文修正、完成							
教科書	系統看護学講座 別巻 看護研究 (医学書院) 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 (照林社)						
参考書							
評価方法	論文作成への取り組み状況、提出状況、研究論文及び研究発表について、評価表に基づき評価する						
備考	論文指導は複数講師にて行う						

授業科目	看護管理	単位数	1	時間数	15		
担当者名	専任教員 病院看護部長	実務経験	教育・看護管理 看護管理	学年	3	開講学期	1
科目目標	看護職者として、必要な管理や、看護実践につなげるための看護マネジメントについての知識を習得する						
授業計画・授業内容							
担当：専任教員				担当：病院看護部長			
1. 今後の医療とヘルスケアシステムについて				4. 看護サービスのマネジメント			
2. 看護とマネジメント				5. 看護を取り巻く諸制度、			
3. 看護ケアのマネジメント				看護職のキャリアマネジメント			
				6. マネジメントに必要な知識と技術			
				7. 看護管理の今後の課題			
				8. 試験			
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護管理 (医学書院)						
参考書							
評価方法	筆記試験・課題レポートで総合評価						
備考							

授業科目	医療安全	単位数	1	時間数	15		
担当者名	病院医療安全係長	実務経験	医療安全管理	学年	3	開講学期	1
科目目標	医療の質と安全を確保する為に、具体的に医療現場で行われる必要な業務を把握し、医療事故を未然に防ぐ知識と心構えを習得する						
授業計画・授業内容							
1. 医療事故について				5. 療養上の世話の事故防止			
2. 医療事故について (シリンジ・輸液ポンプ)				6. 医療安全とコミュニケーション①			
3. 輸血業務、内服薬業務、経管栄養 (注入) 業務				7. 医療安全とコミュニケーション②			
4. チューブ管理と事故防止、 業務領域を超えて共通する間違いと発生要因				8. 試験			
教科書	系統看護学講座 統合分野 医療安全 (医学書院)						
参考書							
評価方法	筆記試験						
備考							

授業科目	災害看護	単位数	1	時間数	15		
担当者名	専任教員 災害医療センター 診療看護師	実務経験	臨床看護実践・教育 診療看護師 臨床看護実践・教育	学年	3	開講学期	2
科目目標	1. 災害が人々の健康に及ぼす影響と障害について学習する 2. 災害時に看護が果たす役割、災害時看護支援活動について学習する 3. 組織的、制度的災害対策について学習する 4. 災害の種類、特殊性と発生からの時期に応じた看護援助の実際を知る 5. 実際の活動内容から国際看護について学ぶ						
授業計画・授業内容							
担当：専任教員 1. 災害医療の知識 (1) 災害の種類と健康被害 (2) 災害医療の特徴 (3) 災害看護と法 2. 災害看護の基礎知識 (1) 災害看護の定義と役割 (2) 災害看護の対象 (3) 災害看護の特徴と災害サイクルに応じた看護活動 3. トリアージと応急処置 4. 災害発生時避難所・救護所の看護 担当：災害医療センター診療看護師 5. 国際看護の実際 担当：専任教員 6. 国際看護の役割と実際 7. 試験							
教科書	系統看護学講座 専門分野 災害看護学・国際看護学 (医学書院)						
参考書							
評価方法	筆記試験						
備考							

授業科目	統合看護技術	単位数	1	時間数	30		
担当者名	専任教員	実務経験	臨床看護実践・教育	学年	3	開講学期	1
科目目標	1. 看護技術経験のリフレクションを通して自己の課題を明確にする 2. 人工呼吸器を装着した神経筋難病患者的の全体像をとらえ、QOLを考慮しながら必要な看護技術を抽出し、模擬患者への看護技術を安全に実施する 3. 複数受け持ち時の時間管理と優先順位、報告の仕方が解り、チームの一員として求められる行動を理解する						
授業計画・授業内容							
1. 看護技術の科学的根拠とケアリング 2. 技術経験のリフレクション 3. 神経筋難病患者的の理解：DVD視聴「生きることを選んで」 4. 神経筋難病患者的の看護過程と援助に基づく演習計画 5. 気管切開・人工呼吸器装着中の管理と援助 6. 気管切開・人工呼吸器管理のリスクマネジメント 7. エラー分析：気管切開・人工呼吸器管理 8. 人工呼吸器装着している神経筋難病患者的の技術練習 9. シミュレーション 人工呼吸器を装着している神経筋難病患者的の援助 ① 10. シミュレーション 人工呼吸器を装着している神経筋難病患者的の援助 ② 11. 人工呼吸器装着中の気管内吸引・口腔内吸引の技術試験 12. 複数受け持ち時の時間配分と優先順位の考え方 13. シミュレーション 多床室患者の対応 ① 14. シミュレーション 多床室患者の対応 ② 15. 演習のまとめ							
教科書	系統別看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ (医学書院) 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 vol.2 臨床看護技術						
参考書	生命活動を支える看護技術、老年看護技術(神経筋難病患者的の看護)の講義資料						
評価方法	技術試験、小テスト、前演習に基づく記録、演習への参加状況により総合的に評価する						
備考	統合実習Ⅱの神経筋難病患者的を対象とした看護実習の事前学習となる科目です 3グループに分かれて、4日間の集中講義・演習で実施します						